

三中総を受けて、参院選・統一地方選勝利へ新しい前進を 大平さん 議席奪還の決意と取り組みを発言

12月2日・3日と開催された第3回中央委員会総会は、総選挙の総括を踏まえ「市民と野党の共闘の前進と日本共産党の躍進の統一的迫及」という主題を深め、2019年の参院選と統一地方選勝利への新しい前進を呼びかけました。

会議では、大平喜信前衆議院議員も発言し、「中国地方での日本共産党の議席の値打ち」を語りながら、次期総選挙での議席奪還の決意を表明しました。

大平さん 憲法審査会に参考人として出席し発言 ヨーロッパ調査で明らか…憲法を変える必要などない



大平喜信前衆議院議員は11月30日に開催された衆議院憲法審査会に参考人として出席し、今年7月の「欧州の憲法および国民投票制度調査」の結果を報告しました。(写真)

大平さんは、調査結果を踏まえて「いまの日本では国民から現行憲法のここを変えてほしいという声や、国民的な幅広い合意が形成されている課題が何処にあるのか」と指摘し、改憲に突き進む動きを批判しました。(大平発言は、中国ブロックのHPの「大平喜信ムービー」で視聴できます)

鳥取県委員会 「集い」先進地・和歌山から学ぶ「全県交流会」

鳥取県委員会は、11月26日に「集い」先進地の和歌山県委員会から古座川町議の洞佳和氏を招き、「和歌山の経験を学ぶ全県交流会」を開催しています。(写真)

参加者は「詳しい話を聞き、得票率12.59%の要因がよく分かりました」「発想の転換が必要だと痛感した。党の訴えは10～15分と短くということに共感した。参加者に話してもらうことが大事だと思う」などと感想を語っています。



萩市に配備予定の地上イージス計画の現地調査

日本共産党国会議員団中国ブロック事務所のメンバーらが29日、地上イージスの候補地とされている陸上自衛隊むつみ演習場(山口県萩市大字高佐上)を調査しました。

この計画は、「北朝鮮のミサイル防衛」の名目で進められていますが、アメリカの兵器を購入し、アメリカのミサイル防衛の一翼を担うものです。